

地域で取り組む

安全で安心なまちづくり

今月は「清田区地域防犯ネットワーク会議」が中心となって取り組んでいる地域の安全と安心を守るための活動を紹介します。

市民部総務企画課地域安全担当
☎889-2400（内線209）

清田区地域防犯ネットワーク会議

安全で安心なまちづくりを目的として区内の町内会、学校、企業など地域の防犯活動にかかわる約40団体を構成メンバーとして平成18年3月に設立されました。

「子どもの安全」を優先課題として活動を開始。情報誌

の発行やフォーラム・講演会などを通じて情報の共有化と防犯意識の啓発を行い、防犯活動を推進しています。本年度から、お年寄りを事故や犯罪から守る活動にも力を入れていきます。

みんなの安全のために活躍してくれている方々に感謝しないね。



■分かりやすい活動

区内各地区で町内会、学校、PTA、スクールガード、交通安全指導員などが参加して、子どもの登下校を見守る活動が行われています。

この活動は昭和50年代から始めている地区もありますが、子どもが被害に遭う事件が多発したのをきっかけに平成17年から急速に広がりました。さまざまな活動の情報交換を行い、互いのアイデアを出し合うことも清田区地域防犯ネットワーク会議の重要な役割です。

■参加者を広げる取り組み

「散歩や買物をしながら、できる人ができるときに」と呼び掛け、たくさんの方の協力を得ながら活動している地区もあります。

地域では気軽に無理せず長続きできる活動を目指しています。

このほかに、青色回転灯を搭載した自動車でのパトロール、夜の見回り活動を行うなど、地域の安全を地域住民がしっかりと守っています。

見守り活動



▲見守り活動の様子



▲青色回転灯を搭載したパトロールカー



▲パトロール員の腕章

清田区地域防犯ネットワーク会議 活動報告



▲ワークショップの様子

10/27

「子どもの安全」ワークショップを開催し、区内各地区の町内会連合会、小・中学校、小学校PTA、交通安全指導員会などが参加しました。

ここでは「見守り活動」「情報共有」「環境整備、安全・安心の意識づくり」をテーマに、地区ごとの現状を報告するとともに課題やアイデアを出し合いました。

近隣地区との情報共有の必要性を訴える声や、子どもにも防犯意識を高めてもらうためにパトロールに参加してもらうアイデアなどさまざまな意見が活発に出されました。

11/29

清田区タウントークで開催したフォーラムでは、ワークショップで議論された成果を